

# 生活創造空間



第3回



## 第3地区福祉フェスタが開催されました。

第3回第3地区フェスタ委員長 志賀 政弥

# にし

NISHI

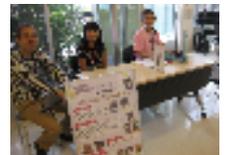
～アンラシネを目指します～

第13号 2012年10月20日発行



10月6日（土）、昨年同様に「生活創造空間にし」において、第3回第3地区福祉フェスタが開催されました。今年も、昨年と同様に地域で福祉に関わっている多くの団体の方と実行委員会を作り、フェスタ開催に向けて準備を重ねてきました。藤棚地域ケアプラザ、さらい工房、菜月、生活支援センター西、みらい工房西、ゆめづくり三番館、エヌ・クラブ、つむぎ、みはらし、百屋、第3地区懇談会、ガッツ・びーと西と12団体が参加しました。今年は昨年に引き続きイベントとして、「障がい」の方々の演奏や発表をメインとして行いました。まず、オープニングセレモニーとして夢現音工房の歌の披露がありました。福祉フェスタの始まりとして、素敵な歌声で会場を盛り上げてくれました。朗読グループあすなろは、普段からみなさんで読み合わせている詩や物語の朗読を披露していただきました。皆さん、感情がとても入っていて実際に物語の中に入り込めるような空間を作ってくれました。

今回初参加の音のりぼんは、ダウン症や自閉症などの障がいを持ちながら、音楽に対する類稀なる才能を持ち世界に羽ばたいている方々です。ピアノ、フルート、ヴァイオリンの演奏は、驚くほどに素敵な演奏で、聴いている人たちを魅了しました。おどるなつこさん&エヌ・クラブダンサーズは、皆さんで素敵なタップダンスを披露してくれました。また、会場に観に来られた方々も自由に参加できる企画でしたので、大いに盛り上がりました。抽選会では各団体から素敵な景品の提供があり、数多くの応募がありました。落語会では、普段あまり生で聴くことのできない落語の笑いの世界を体験していただけたと思います。第3地区福祉フェスタは今年で3回目ということもあり、年々来場者数が増えてきました。地域のお子さんやお年寄りの方々も多く来場されています。イベントを盛り上げてくださった方々も障がいを持ちながら、各々の得意分野でご活躍されています。みなさんの発表の機会を提供でき、また地域の方々と交流ができたことは、私たちが地域で福祉に関わっていくにあたって大きな力となります。障がいのある方、高齢者の方、子ども、同じ地域に住む人がみな分け隔てなく生活のできる地域づくりを目指し、そんな交流の場を第3地区福祉フェスタとして今後も企画し、よりいっそう盛り上げていきたいと思っています。多くの方々に支えられ、人と人とのつながりで実現した第3地区福祉フェスタ。来年度も多くの方々とつながり、支え合いながら地域の活性化に向けてよりいっそう頑張ります。来年度もよろしくお願いいたします！



# 「2012年生活創造空間にし「第2回研修会のお知らせとともに」

**平成24年11月27日（火） 場所 生活創造空間にし5階**

**第1部 15:30~17:00 「地域生活定着支援センターからの報告を受けて」  
（社会福祉士会 会長 山下 康 氏）**

**第2部 17:30~19:30 「地域福祉・創りを考える・・・（障がい教育から）」  
（上記講師そして特別支援学校進路及びコーディネーター）**

どの部分から参加もOKです。西区民生委員・西区地域自立支援協議会のメンバーその他参加者とともに様々な論議が出来たらと考えています。よろしくお願い致します。

第1部研修企画の契機として 2012年9月21日の神奈川新聞にこのような記事が掲載されました。

＜罪犯した知的障害者や高齢者＞＜一時施設へ帰住半数＞＜福祉受け皿みつからず＞

『刑務所などを出た知的障害者や高齢者を福祉サービスにつなぐ「県地域生活定着支援センター」（横浜市神奈川区）は20日までに2010年12月の開設から12年3月までの運用実績をまとめた。帰住先をあっせんしたのは計37人で、うち22人の施設や住居が決定。しかし、半数近くが簡易宿泊所など一時施設で、福祉施設に入居できたケースは4人ととどまる。センターは「受け入れ施設が少ない」と、啓発の必要性を訴えている。』

『再犯は、食うに困って窃盗をしたり、無銭飲食をしたりする軽微な事件がほとんど』

『社会に出ても住む場所がみつけれなければ、1日3回食事が出て、屋根の下で安心して寝られる刑務所を行き来することになる』

『入所を依頼しても「空きがない」と断られることが多い』

『センターで帰住先が決まった22人のうち、再犯したのは4人ととどまる』

『療育手帳取得などに課題』

どのようにこの記事を読まれたでしょうか。「地域で生きる」と言葉では簡単に云えることでも実際に暮らしていくことは「今」でも難しい！ とりわけ「障がい」「服役」した方々を地域で受けとめることってそんな簡単にはいかないものなのか。と・・・。

第2部は上記を含めながら改めて「障がい学齢児」がどのように生き合いそして卒業後どう生きているか。長い間、真摯に取り組んでこられた「特別支援学校」進路そしてコーディネーターの方々から、支援学校の現在そして地域福祉・創りへの課題、期待等 忌憚のない発信をしていただきます。

そして最後にグループ討議を考えています。そんな中で地域への大きな指針創りへの一歩となることを願っています。

（研修担当 渡辺幹夫）



## ガッツ・ビーと西 梅の季節です！

【もう4年目を迎える、ガッツ・ビーと西です！】

2009年6月に開所してから、ガッツ・ビーと西も4年目を迎えました。初年度より継続して、梅を使った作業を扱ってきましたが、今年は本格的に梅干し作りを行ないました！

【ガッツの梅プログラム】

毎年6月には、梅を使った作業を行っており、昨年は梅ジュース作りでしたが、今年は大決心で「30kgの梅干しを漬ける！」という大きな目標を持ち、今までにない量の梅を扱う作業を行ないました。

群馬県の農家から直接買い付けた青梅は、鶯宿（ほうしゅく）という品種で、皮と実が柔らかく、梅干し作りに適しているそうです。まずは、梅を丁寧に洗い、へたになっている部分を楊枝で取り除き、塩をまぶします。大きさに分けてピンに詰め、1カ月ほど寝かせてから、夏の暑い日差しで4日間天日干しをして、うまみを凝縮させました。

ご利用者と一緒に梅を干しながら、「1年前に干した時よりも、梅の香りがする」、「酸っぱそうだけどおいしそうだね」等、梅についての会話も弾み、今年の梅が出来上がりました！

少ししょっぱいかもしれませんが、4年目の「ガッツ梅」を自信をもって販売したいと思います。先日行われた、第3地区福祉フェスタでもご好評を頂き、11月の区民まつり（11/4（日））でも販売予定です☆

ぜひ、おにぎりや和え物、お弁当やサワーに入れたり（笑）と、その味をお楽しみ下さい♪



## エヌ・クラブ 缶パン 万感の思い

エヌ・クラブでは、おいしいパンを作っています！そして、これから新たに考えていることは、おいしいパンを缶詰めにしよう！ということです。

パンの缶詰事業をはじめよう！と考えたのは、3月11日に起こった東日本大震災がきっかけです。避難所における非常食が毎日おにぎりのみなど単一の食事しか提供されていない所が沢山あったと聞いています。私たちは、災害時、被災された方たちに「食」を通じて「安心」を提供したいと考えています。すでに、レトルト加工の設備と技術はあり、野菜たっぷりでおいしいカレーやスープを販売させて頂いております。長期保存がきくので、非常時の備蓄食材として最適です！そして、これから、おいしいパンの缶詰のバリエーションが加わる予定です。

障がい者の働く場が非常に少なく、「働きたいのに働けない」「収入が少ないから生活ができない」といった状況が続いています。障がいのある方が活躍できる新たな仕事を開拓し、創っていくのも福祉の役割で、それぞれの分野の専門家と手を結びながら事業展開を行っているところも増えています。このことを踏まえて、わが法人（エヌ・クラブ）でも今までに培った技術を生かしながら、パンの缶詰を製造しようと考えました。まだ準備中で道のりは長そうですが、新たな事業を推し進めることによって、エヌ・クラブのご利用者さんが、さらにいきいき地域で働いていけますように！と願い、万感の思いに浸る今日、この頃・・・今後とも、よろしくお祈りします。

♪ランチコンサートだより♪

# こんにちは！フルートとピアノのデュオ、です。



2009年8月から月イチでコンサートをスタートして、4年目となりました。

ふだんは、ジャズをメインに演奏している私たちですが、ここではみなさんのリクエストを取り入れて、邦楽、洋楽、映画音楽にクラシック・・・と幅広く演奏しています。

演奏をスタートしたばかりのころは、ご利用者様も私たちもお互いに緊張した雰囲気でしたが(笑)、今ではおなじみ！「こんにちはー！」とあいさつしたり、友達のように。

みなさん、手拍子したり、音に合わせて声を出したり、身体を動かしたり・・・中にはピアノを弾いたり、歌ってくれる方も！感じた事をストレートに表現してくれるのが、本当に嬉しいです。

私たちの楽しみのひとつに、演奏後いただくご飯があります♪

シャララカフェはいろんなメニューがあって、どれにしようかいつも楽しく迷っています。

お子様が遊べるスペースもあり、どなたでも入れる施設です！



開放感のあるエントランスがめじるし！西横浜の駅からもよく見えます。

ぜひ、遊びにいらして下さいね！

★ランチコンサートの予定はホームページまたは館内のポスターをご覧ください★

黒日記～黒々なるままに～

☆かめすくい☆

先日、家族でお祭りに行った。子どもたちは様々な露店に興味を示し、親は「まあ、お祭りだから…」とついつい財布のひもを緩めてしまうものだ。うちの息子が「かめすくい」なる露店に興味を示した。読者の皆様ももしかしたら目にされたことがあるかもしれない。一言で言うと金魚すくいのミドリガメバージョンだ。1回300円で3匹取れたら1匹持ちかえりOK、6匹で2匹という具合だ。また、ここからが少し複雑で、3匹に至らなかった子どもは駄菓子の棒ゼリーを亀の代わりに渡される。もう300円積んで2回目に挑戦する贅沢な子どもは、その2回目で3匹取ることができなくても、もらった棒ゼリーを返却することで亀1匹もらえるとのこと。600円積めば必ず1匹はもらえるという計算だ。息子は慎重タイプではないので最中でできたおたまは瞬く間に藻くずと化す。どうしても亀がほしい息子はもう1回挑戦し、当然2回目もすくうことはできない。ただ、1匹はもらえるとのことなので親としても、まあ散財しつつもミッションクリアと安堵したその時、息子の口からは半分以上飲み干した棒ゼリーが無情にもぶら下がっていた。

(腹グロール)

生活創造空間にし URL：<http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)